



令和 3 年 2 月 15 日

暴風雪に対する緊急発表

～最新の気象情報・道路情報・交通関係情報を
事前に確認し、万全な備えを～

宗谷地方では、16日は急速に発達する低気圧により「数年に一度の猛ふぶき」となる見込みです。見通しの全くきかない猛ふぶきや吹きだまりによる立ち往生に警戒が必要です。最新の気象情報や道路交通状況等を確認していただき、万全な備えをお願いします。

稚内地方気象台では、「暴風雪と高波に関する宗谷地方気象情報」を発表し、別紙1のとおり、暴風雪等への警戒を呼びかけています。

北海道開発局では、今後の悪天候に備え、十分な除雪体制を構築しておりますが、過去に別紙2の様な立ち往生車両が発生していることから、早い段階で通行止めを行う場合がございます(別紙3)。

なお、立ち往生車両が発生した場合、別紙4のとおり、緊急通行車両の通行確保を目的とした、立ち往生車両等の移動を行う場合がありますので、予めご了承願います。

また、「ふぶきによる視程障害や吹きだまり」による道路交通障害、公共交通機関の遅延や運休が発生するおそれがあります。最新の道路情報、交通関係情報や気象情報(別紙5参照)を十分に確認していただき、不要不急の外出は避けていただくとともに、万全の備え(別紙5、6参照)をお願いします。

<最新の気象情報・道路情報・交通関係情報は、こちらを御覧ください>

気象情報：<https://www.jma-net.go.jp/wakkanai/>

北海道地区道路情報：<https://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/>

北海道 旅の安全情報(交通機関の運行情報が確認できます)：<http://safety-travel.jp/>

道路交通情報NOW!! — 日本道路交通情報センター：<https://www.jartic.or.jp/>

【気象に関する問合せ先】

稚内地方気象台

観測予報管理官

森田 克也 電話0162-23-2678

【道路に関する問合せ先】

国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部

広報官

樋爪 達也 電話 0162-32-1015 (内線 2401)

道路整備保全課長

孤山 晃 電話 0162-33-1159 (内線 2381)

稚内開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/wk/>

稚内開発建設部公式 Twitter アカウント https://twitter.com/mlit_hkd_wk

- 宗谷地方では、16日昼過ぎから17日にかけて降雪を伴った非常に強い風が吹き、暴風雪により見通しの全くきかない猛ふぶきや吹きだまり、大雪による交通障害が発生するおそれがあります。
- また16日は、数年に一度の猛ふぶきとなるおそれがあります。外出は控えてください。
- 急な天候の変化により、見通しがきかなくなり立ち往生等に警戒が必要です。外出される際は、事前に気象情報や道路情報を十分に確認していただき、不要不急の外出は避けるなど、万全の備えをしていただくようお願いします。

【今後の気象の見通し】

地域 / 時間	15日		16日		17日		
	夜	朝	昼	夜	朝	昼	夜
宗谷地方				★			

凡例: 暴風雪の警戒期間 ★ ピーク

<風の予想>

16日の最大風速(最大瞬間風速)

西または南西の風

宗谷北部、利尻・礼文

海上28メートル(40メートル)

陸上23メートル(35メートル)

宗谷南部

海上25メートル(35メートル)

陸上20メートル(35メートル)

17日の最大風速(最大瞬間風速)

南西の風

宗谷地方

海上25から29メートル(35から45メートル)

陸上20から24メートル(30から40メートル)

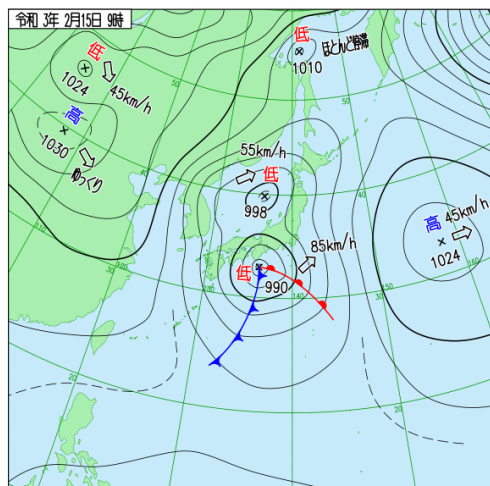
最新の詳細な気象情報は、気象庁HP

(<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>)でご確認ください。

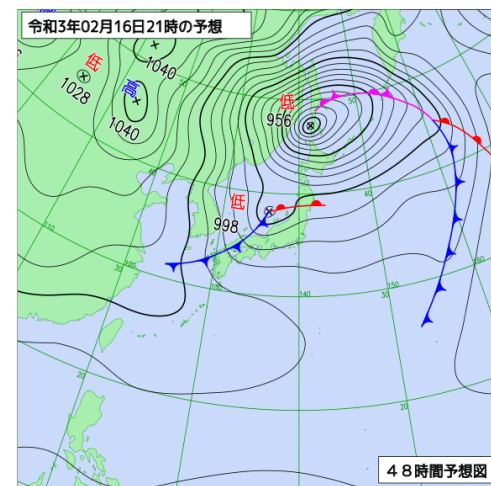
【気象概況】

- 15日は低気圧が急速に発達しながら日本の南から三陸沖を北上し、16日は更に発達しながらオホーツク海へ進む見込みです。北海道付近は、16日から17日にかけて強い冬型の気圧配置となるでしょう。
- 16日朝からは降雪を伴った西の風が急速に強まり、雪の降り方も強まる見込みです。

【天気図など】



15日9時実況天気図



16日21時予想天気図

【過去の暴風雪や大雪による道路状況】

- 過去には、下に示す写真の様なふぶきや大雪の影響により、多数の立ち往生車両が発生。
- 広い範囲でふぶきや大雪の影響により、国道の通行止め発生や公共交通機関の運行が停止し、物流や住民生活に大きな影響を受けた。



大雪による立ち往生の発生

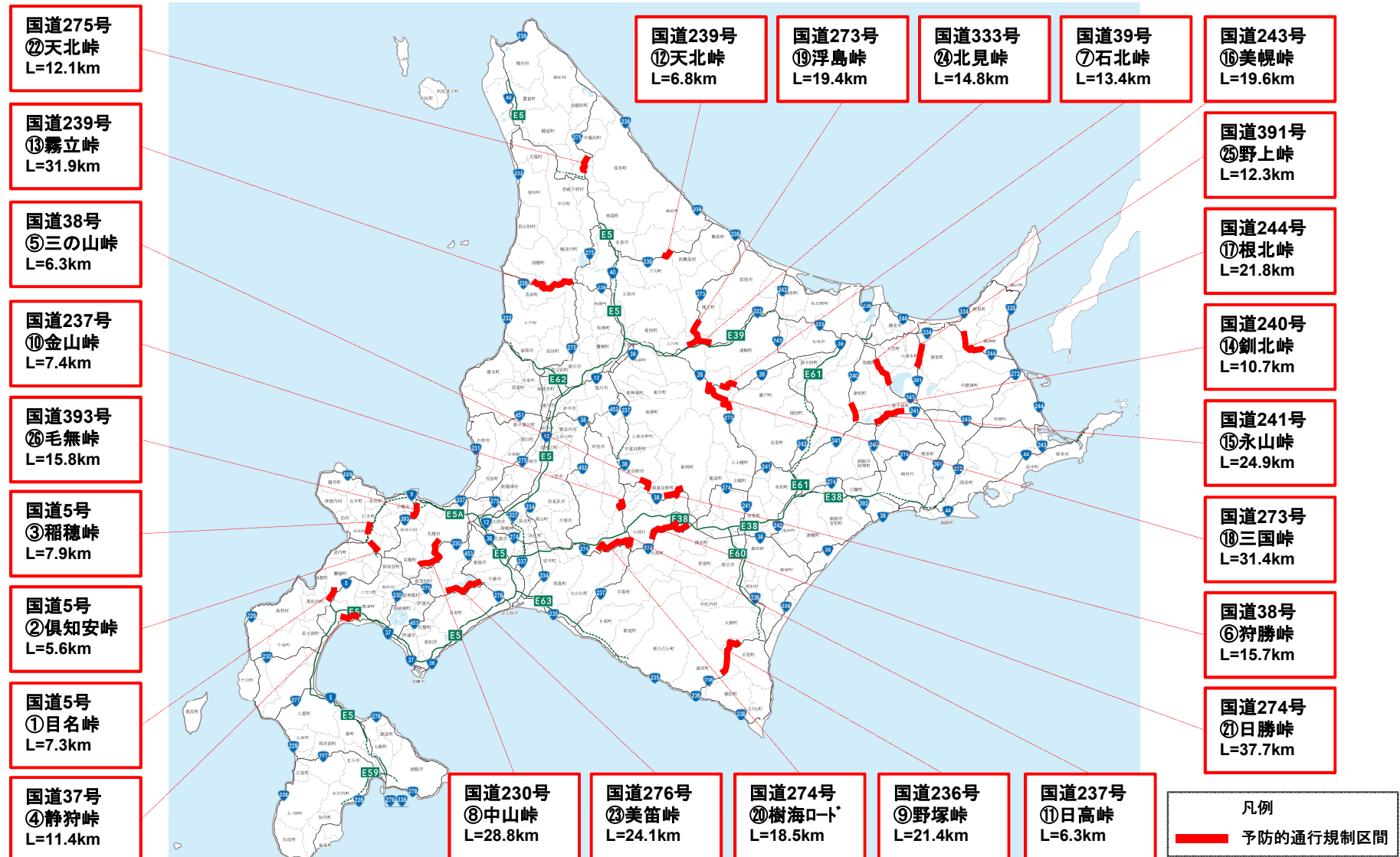
予防的通行規制区間 位置図

(別紙3)

稚内地方気象台
稚内開発建設部

- 北海道開発局が管理している国道のうち、大雪時に急な登り坂で大型車等が立ち往生しやすい26区間を「予防的通行規制区間」に設定しました。
- 異常な大雪時に必要に応じて、早い段階で通行止めを行い、集中的に除雪を実施し、立ち往生車両の発生を防止します。

※その他の区間においても、気象状況等により通行止めを行う場合があります。



- 災害対策基本法改正(平成26年11月21日施行)により、大規模災害発生時における緊急通行車両の通行ルートを確認するため、道路管理者による放置車両等の移動が可能となりました。
- 緊急通行車両の通行を確認する緊急の必要がある場合は、災害対策基本法に基づき、道路管理者が区間を指定して、放置車両・立ち往生車両等の移動を行う場合があります。

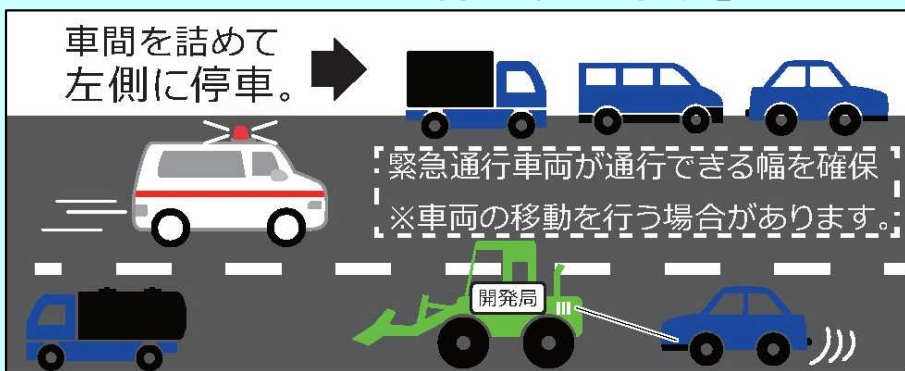
【区間を指定し車両移動を行うケース】



地震やふぶき
等で立ち往生
等が発生

緊急通行車両の通行ルートが1車線すら確保できない場合に行う

【車両において避難する際の留意事項】



※車両を置いて移動される場合は、連絡先や避難場所等を掲示していただくとともに、鍵を付けたままでの避難に、御協力をお願いします。

【道路管理者による車両の移動方法】

- 車両に鍵が付いている場合 ~ 道路管理者の運転による移動
- 車両に鍵が付いていない場合 ~ 重機等による移動

移動用装置による移動状況(参考例)



サイドミラー等に移動の通知や連絡先などを記載し掲示

牽引による移動状況(参考例)



※車両移動の指示があった場合は、道路管理者の指示に従い速やかな車両移動へ御協力を。

※移動通知書は、移動前付近の構造物等にも掲示。

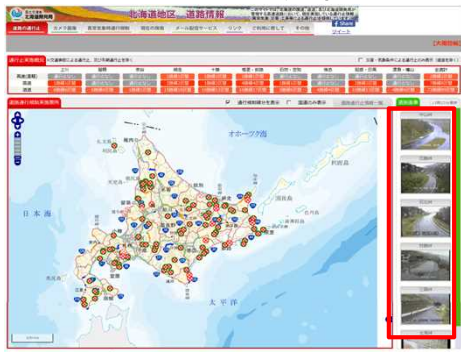
【車両の移動時における損傷】

- 道路管理者等により車両を移動した際の損傷(窓ガラスの破損、車両のへこみ等)については、補償の対象となりますので移動通知書に記載の問合せ先に、御連絡願います。

冬期の悪天候時には、最新の各種道路情報や気象情報を確認願います

北海道地区道路情報

国道・道道の規制情報、道路気象情報、道路画像情報をWebページで提供
PC・スマートフォン・携帯 URL: <http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/>



静止画像と気象データ(気温、路温、風速、時間雨量、積雪深)を見ることが可能

(北海道道路地区情報)

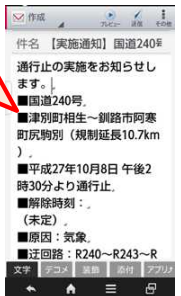
外国人ドライバー向けに
英語で情報提供

SNSでも通行止め情報



メール配信サービス

通行止めの開始、
通行止め解除の予告、
解除の情報を提供



(メール配信画面)

気象庁発表の気象情報を踏まえた道路利用者への情報提供

道路情報板に道路利用者へ予告情報「早めのタイヤ交換」、「通行止めを行うことがあります」等を周知。

＜初冬期＞
各峠路面凍結の恐れ
冬タイヤ装着
早めのタイヤ交換を

＜暴風雪時＞
○気象情報の発信
○日～○日にかけて
○地域
暴風雪の恐れ

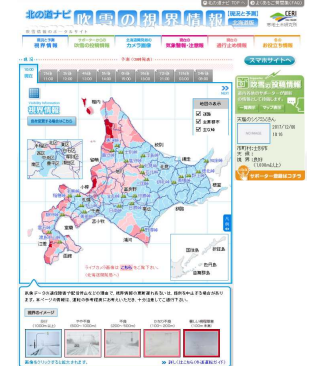
○通行止め
○峠
吹雪のため
通行止
Road Closed
due to snowstorm

○通行止め解除予告
R231 ●～▲
10:00 通行止
解除予定
Road Closure
Will be Cancelled
at 10:00

外国人ドライバー向けに
英語で情報提供

北の道ナビ(ふぶきの視界情報) <寒地土木研究所提供>

吹雪の視界情報等の情報を集約した情報提供サイト。



- ▶視界情報 ▶吹雪の投稿情報
- ▶気象警報・注意報 ▶通行止め情報
- ▶メール配信サービス

●下記の語句で検索したくか、次のURLをご入力下さい。

PC版
吹雪視界 検索

URL <http://northern-road.jp/navi/touge/fubuki.htm>

スマートフォン版 ケータイ版

URL <http://northern-road.jp/navi/touge/sp/fubuki.htm>

コンビニやガソリンスタンド等に道路管理者からの道路情報

コンビニやガソリンスタンド等に
協力いただき「道路情報連絡所」
として、道路情報提供を実施。

国道情報
連絡所



コンビニ掲示状況

※道路管理者からの道路情報(通行止め情報)は各連絡所にi-Faxにより送信され、店舗内に掲示。(コンビニ、ガソリンスタンド、道の駅等、全道894箇所)に送信。)



▲揭示例

警報・注意報や気象情報

気象庁や各地の気象台における警報・注意報の発表状況や最新の気象情報を提供。URL: <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>



▲二次元コード

- 暴風雪による大雪や猛吹雪、吹きだまりにより「立ち往生」などの可能性がありますので、**不要不急の外出**は避けるようお願いいたします。
- やむをえず自動車を利用し外出する場合には、防寒対策などの事前の備えを十分に行うようお願いいたします。
- 安全な走行が困難な場合は無理をせず、最寄りの「SA・PA」や「道の駅」等で、天候回復を待つなど、早め早めの対応をお願いいたします。

【暴風雪等への備えと対応】

外出の際は以下の備えを



※上記は備えの一例であり、天候等に合わせた万全な備えをお願いします。

立ち往生し救助を求めるときは

- 立ち往生してしまった場合は、ハザードランプ点灯や停止表示板等により、停車していることが他の車や周囲にわかるように表示。
- 道路管理者や警察・消防等に救助を求める場合は、出来るだけ位置を正確に伝える。

※国道での位置は、道路脇の1km置きに設置された標識を確認。

※警察署、消防署へ救助を求める場合 : 110/119
道路管理者へ救助を求める場合 : #9910
JAFロードサービスへ救助を求める場合 : 0570-00-8139 (#8139)



立ち往生して車内で救助を待っているときは

- 車で走行中に立ち往生してしまい車内で救助を待つときは、低体温症や凍傷、排気ガスによる一酸化炭素中毒にならないように十分注意が必要です。

！ 一酸化炭素中毒の危険性

車が雪に埋もれたときにエンジンをかけ続けると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険性が生じます。埋もれる深さが深いほど危険です。



！ 原則エンジン停止

一酸化炭素中毒の危険をなくすにはエンジンを切ることが大切です。防寒着や毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。



！ エンジンをかけるときは

防寒等でやむを得ずエンジンをかけるときには、排気管出口を確実に大気へ開放し、追加の降雪や吹きだまりによる再埋没に注意しましょう。



※窓を開けていても風向や窓の開度等の条件によっては、一酸化炭素中毒の危険性があります。